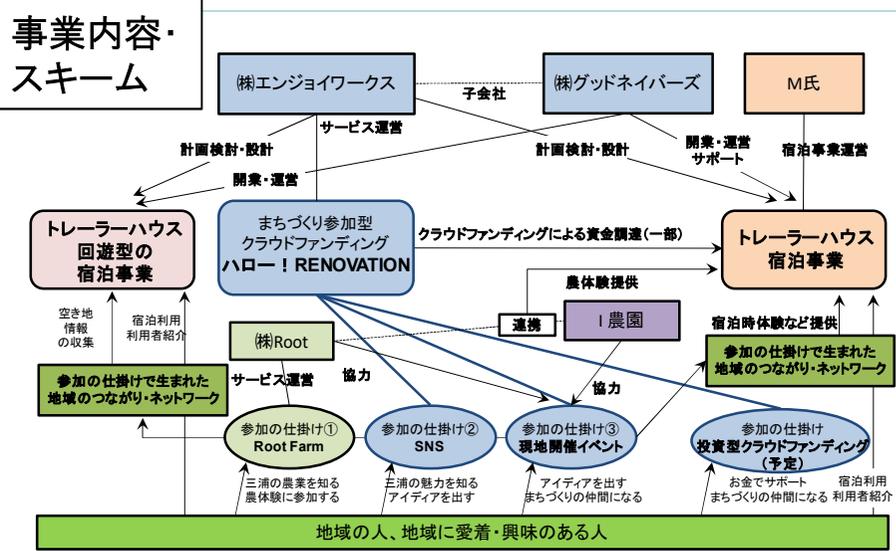


トレーラーハウスを利用した三浦の農体験ができる宿泊施設運営事業 (三浦市 株式会社エンジョイワークス)

- 三浦半島に興味関心を抱く方々を集めたワークショップ型イベントを通じて、三浦半島を対象とした体験プログラムに対するニーズを調査
- 地域の産業を活用した体験プログラムと回遊型トレーラーハウスを用いた宿泊事業による空き地の活用を検討

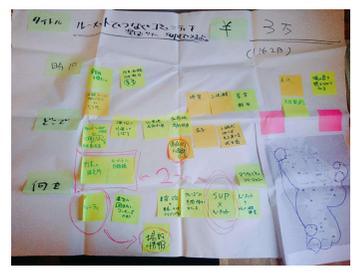
背景・課題
 調査対象地域である三浦市では、人口減少に伴う空き家・空き地の増加が課題となっている。また、三浦半島の三方を海で囲まれた台地で育った「三浦野菜」が全国的に有名であるが、地域資源として活用しきれない現状にある。

調査目的
 三浦海岸沿いの空き地にトレーラーハウスを設置し、農体験プログラムなどと合わせた宿泊事業を立ち上げることで、地域の関係人口の増加、将来的な移住増加等に寄与することを目指す。本調査では、事業の立ち上げ、運営の検討を行う。



モデル調査の成果

- ・ワークショップ型イベントを通して、農体験に限らず、三浦らしさを感じられる多様な旅を楽しみたいというニーズを把握することができた。
- ・事業の方向性として、滞在期間中に複数の空き地をホッピングする「回遊型のトレーラーハウス宿泊事業」の可能性を見出し、三浦半島全体を楽しめる事業として通常の観光体験とは異なる三浦の自然環境や豊かな農山村的な景観の中で過ごしてもらうこととした。
- ・回遊型トレーラーハウス宿泊事業を紹介するホームページを作成し、事業に必要な空き地情報の収集を開始した。
- ・宿泊事業に使用するトレーラーハウスについては、以下の調整事項が生じることが明らかとなり、最小限の設備変更で宿泊施設として利用可能である「ルーメット」という車両を検討した。



第4回イベントでのワークショップ成果



検討したトレーラハウスの外観

- ①ウェブ、SNS等を活用した情報発信の実施**
 ・専用ウェブサイト、SNSにより宿泊事業に関わるイベント等の情報発信を実施。また、イベント告知の為にチラシを作成し配布した。
- ②各種イベントの企画・運営**
 ・宿泊事業や農体験プログラムの企画、宿泊施設づくり等を目的に、全4回のワークショップ型イベントの企画・運営を実施した。
- ③トレーラーハウス事業の検討・企画**
 ・事業に共感・賛同する人同士のコミュニティ形成をするとともに、本事業に関わる人材発掘を実施した。また、参加者との議論も踏まえ、クラウドファンディングの活用を前提とした事業の検討・企画を実施した。

- 《トレーラーハウスのシャーシと上部構造を別々に購入し、製作する場合の調整事項》
- ・けん引が可能な車両、製作場所で実施すること
 - ・車検を受けることができる整備工場を確保すること
 - ・車検の度に、旅館業営業を再申請する必要があること
 - ・上下水道、電気などのライフライン工事の実施が必要になること
 - ・建築基準法の適用を受けること(確認申請が必要となること)